

ひと★まち

まちづくりフォーラム 2022

～ imagination & creation 地域と共に ～

財団設立30年を迎え、これまでの歩みを振り返りつつ、「ありがとうでつなくひととまち」という共通メッセージのもと、皆さまへの感謝の気持ちを込めて、施設特性や地域特性に応じた多様な文化事業を11月からリレー形式で開催してきました。その最後を飾るステージとして、豊かで魅力的なまちづくりについて共に学び共に考える「まちづくりフォーラム」を開催します。

前半は文化センター、市民センター、児童館における事例発表、後半はパネリストをお迎えして、財団事業のこれまでとこれからを語るパネルトークを行います。明日の仙台のまちを想像し、コミュニティを創造していくために、地域と共に歩むべき事業のあり方を展望します。

なお、この事業は「市民センターフォーラム」と「児童館フォーラム」の合同企画として開催します。

日時・会場

令和4年 2月27日(日)

13:30～15:40

せんだいメディアテーク(1階オープンスクエア)
仙台市青葉区春日町2-1

参加費
無料

参加対象
どなたでも

当日の日程

13:30～13:35 オープニング(主催者挨拶・財団新ロゴマーク発表)

13:35～14:20 第1部 事例発表

14:20～14:30 休憩

14:30～15:30 第2部 パネルトーク

15:30～15:40 エンディング(振り返り)

参加申込

令和4年1月17日(月)から財団設立30周年記念特設webサイトの申込みページで受け付けます。※150名先着順(会場定員300席)

動画による視聴

主催者公式YouTubeチャンネルより、どなたでもご覧いただけます。主催者ウェブサイト<https://www.hm-sendai.jp/30th>よりアクセスしてください。

アクセス

市営地下鉄 南北線「勾当台公園駅」下車、公園2出口から徒歩6分

駐車場 近隣のコインパーキングをご利用ください。

問い合わせ

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-12-1
TEL. 022-268-4789 FAX. 022-225-2791
E-mail. infodesk@hm-sendai.jp
URL. <https://www.hm-sendai.jp/30th>



携帯電話のご利用マナーにご協力ください

第1部 事例発表

ひとのつながり・まちのひろがり ～地域施設の実践事例～

財団が運営する文化センター、市民センター、児童館における地域連携による多面的な事業展開や地域コミュニティのひろがりにつなげた事例発表を行います。

発表者 文化センター職員、市民センター職員、児童館職員

第2部 パネルトーク

imagination&creation 地域と共に ～これからのまちづくり～

仙台のまちづくりの「これまで」と「これから」について、パネリストによるクロストークを行います。

パネリスト

地域社会デザイン・ラボ代表
元仙台市総合計画審議会副会長

遠藤 智栄氏

雑誌の企画編集、農山漁村の活性化のコンサルティング、NPOの中間支援等の活動を経て独立。現在は、共創でのソーシャル・デザイン、地域づくり、組織開発、人材育成などのテーマで活動している。株式会社ばとん代表取締役。



パネリスト

公益財団法人
仙台ひと・まち交流財団理事長

板橋 秀樹氏

1982年仙台市役所入庁。財政局、企画局、経済局、民生局、子供未来局、都市整備局、交通局、水道局、ガス局、市民文化事業団などに勤務し、幅広い施策内容を経験。子供未来局長、財政局長、水道事業管理者を経て、当財団理事長に就任。



パネリスト

タレント/J:COM仙台
「仙台なるほど調査隊」まち歩き
レポーター

ワッキー貝山氏

J:COM仙台のTV番組「仙台なるほど調査隊」に出演し、仙台市内を中心に様々な地域の方々との触れ合いや様々な地域を探検。特技は、フィギュアスケート、水泳、楷書、仙台弁、英会話。



コーディネーター・総司会

アナウンサー・朗読家

渡辺 祥子氏

1991年フリーアナウンサーとして独立し幅広く活動。1998年より朗読家としての活動を開始。「言葉の力・生きる力」をテーマとした講演や執筆にも取り組む。障がい者就労支援NPOほっぷの森理事、仙台文学館友の会会長、3.11を語りつく会代表なども務める。

